

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称						実施主体		
第25回南区ふれあいまつり						南区ふれあいまつり実行委員会		
事業目的		事業内容		活動指標		R4	R5	R6
区民の関心が高い「防災」や「減災」をテーマにした事業を実施し、南区の防災力を高めることと、自治会加入促進に寄与することを目的とする。		防災シンポジウム、防災関連ブース、防災クイズスタンプラリー、各校区模擬店、各種協力団体出店、ステージイベント		来場者数 (R4は代替事業としてみなみ防災フェスタを実施)		1,050人	13,000人	18,000人
						-	-	-
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性		
○	南区最大のイベントである南区ふれあいまつりで、区民の関心が高まる「防災」や「減災」を取り扱うことで多くの区民に働きかけることができる。	○	南区自治連合協議会和南区長で構成する実行委員会が企画を行い、地域住民と区職員が当日の運営スタッフとして関わること、協働が実現できている。	◎	今年度は5年ぶりにステージイベントを実施した。大阪府警による特殊詐欺被害防止啓発劇や南区内の大学生によるバンドライブがあったことで、目新しさがあり、幅広い世代の方に見てもらうことができた。また、ステージ上で防災イベントコーナーの紹介や防災シンポジウム行ったことにより、区民の防災意識づくりに働きかけた。	○	市の負担金だけでなく、校区負担金や企業等からの協賛金もあわせて運営資金とし、財源の確保に努めた。 また、各種委託業務内容を見直し、コンパクトな開催内容に変更し、経費削減を行った。	
⑤自立発展性		総合評価						
△	本事業は、南区最大のイベントであり、実施にあたり各種団体との調整業務が非常に重要となっており、区が事務局として実施する必要がある。	○	当日は天候に恵まれ、約18,000人ももの来場者があった。また、ステージイベントを実施し、幅広い世代の方に観覧いただいた。昨年度に引き続き、「防災」や「減災」を取り扱ったイベントを実施したが、参加者より防災意識の向上につながったとの回答も得られ、区民の防災への意識づくりに働きかけたと言える。					
今後の方向性(課題、改善提案等)								
拡充 <u>継続</u> 見直し 廃止	今年度は昨年度に引き続き、南区ふれあいまつりで防災イベントを実施したが、防災への意識づけがみられたことから、これからも区民の防災への関心は高まると予想されるので、今回の防災イベントの内容を精査し、南区民に防災・減災に関心をより惹いていただくため事業を継続する。また、南区内の学校に通う生徒の方々に、出席・出演してもらうことで、若者の来場者を増やし、南区内の若年層に対して防災・減災への意識づけを行う。なお、コンパクトな開催を行うために、イベント内容や業務改善を行い、経費削減・効率化をめざしていく。							